

学びの集い大阪集会 子育て研と服部緑地公園での謡仕舞会

6月26日には、大阪女子短期大学にて子育て研、27日には、服部緑地公園内の古民家において、「孫まで三代私の学び」の合同謡仕舞会が行われ、参加者は25名、2歳から80代までの幅広い世代の方々が、奈良・名古屋・大阪・兵庫・仙台各地から集まりました。本屋主宰が同窓会で再会された小学校時代の同級生の方々も参加し、七夕飾りなどの子どもクラス、孫三のキッズゲルニカの紹介も行いました。

○6月26日 大阪女子短期大学にて千股さんの講話と子育て研

26日の午前は、本屋先生の設定で、大阪女子短期大学で、千股くんに子さんのお話「日本文化と仏教」を聞くことができました。これまでも千股さんには、梅原猛氏や宮城谷昌光氏の本を紹介していただきました。

午後には、大阪女子短期大学子育て支援研究会の実践検討会に参加しました。名古屋から人物画を素材にした保育実践の報告、仙台からは藤原香奈さんのまごさん共同保育室での「立体を捉える子どもの変化～おにぎり作りで子どもの姿から考える～の実践報告、藤原新さんの孫三におけるコンピュータ活用の意義、孫三の会員サイトの紹介の他、ネット中継で、福島若菜さんと実際につないで参加する試みも行われました。



○6月27日 服部緑地公園内民家集落博物館で謡仕舞会

今回の謡は「仕事人間の悲劇」として「黒塚」を取り上げ、現代の私たちの生活に直結する問題という視点で取り組みました。本屋主宰の謡講座の後、初めての方も地謡に座り、謡を楽しみました。各自の仕舞では、地謡に初参加の方も多く、一緒に舞台を創っていく感覚を味わいました。また、仕舞「黒塚」の体験講座も行われました。

参加された方の感想より

- ・仕舞は初舞台だったが、地謡に後押しされ、緊張しつつも気持ち良かった。謡黒塚も貴重な経験だった。
- ・日本の伝統が知りたくて参加した。難しいが、迫力を感じた。
- ・声を聞いていると健康につながる芸術だと感じた。これまで西洋音楽芸術には触れる機会があったが、日本のものはなかった。
- ・古民家にふれ日本文化の伝承について思う。和音の積み重ねが言葉、能もそうじゃないかを感じる。

